

# 室生寺の五重塔（室生）



▲五重塔上部の相輪。矢印の部分が水瓶。



▶室生寺境内にある修円僧都の廟



弘法大師にまつわる伝説を一つ紹介しましょう。弘法大師が唐（現在の中国）に留学して帰国する前に、そこから日本に向かって独鈷（密教で使う仏具のひとつ）を投げ、それが落ちたところに寺を建てようとした。帰国後、諸国をまわってその独鈷の落ちた場所を探していると、室生の山中に昼夜光るところがあり、その場所に寺を建てることとしました。それが現在の室生寺で、五重塔は弘法大師が一夜で建てたとも伝えられています。

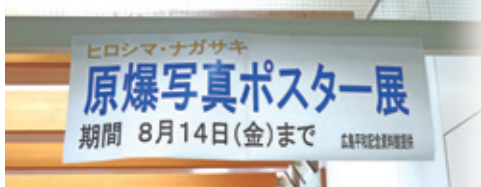
普通の五重塔の相輪の上には水煙がついていますが、室生寺の五重塔は水煙ではなく、水瓶となっています。修円（室生寺の伽藍整備を行う興福寺の僧）と弘法大師とが祈雨を競ったときに、修円が水瓶に龍を封じ込んで弘法大師を負かしたといわれています。室生寺の五重塔は国宝に指定され、屋外に建つ五重塔としては国内最小のもので、平安時代初期（9世紀初頭）に建てられたことがわかっています。

（参考文献「室生村史」昭和41年）

今日の  
**Pick Up**

## 核兵器のない平和な 世界の実現に向けて

### 原爆写真ポスターを展示



8月3日から14日まで、市役所ふるさとテラスにおいてヒロシマ・ナガサキ原爆写真ポスターの展示を行い、多くの方が訪れました。

このポスターは広島平和記念資料館提供のもので、被爆の実相と核兵器の恐ろしさを次の世代に伝えるため、毎年この時期に展示しています。

今年は終戦から75年となりましたが、世界では争いが絶えません。これからもいろいろな活動を通じて、平和の尊さと核兵器の恐ろしさを伝えていく必要があります。

